（様式第11号）（第24条関係）

太陽光発電施設設置届出書

2026年10月16日

長野県知事　様

住　所　愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番地9
氏　名　大和ハウス工業株式会社　中部支社
上席執行役員支社長　髙吉　忠弘

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第１項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所		長野県上伊那郡飯島町飯島231-1，240-2，240-3，242-1
事業区域の位置及び面積		8,373.0㎡（フェンス内CAD計測約7,080.0㎡）「別添位置図等参照」
太陽光発電施設の合計出力		699.0kW （太陽電池の合計出力982.8kW）
太陽光発電事業の内容及び実施予定期間	発電電力の用途	■売電　□自家消費 設備ID（非FIT案件になります。）
	設置工事着手予定日	2026年12月1日
	設置工事完了予定日	2027年3月31日
	運転開始予定日	2027年3月31日
	施設撤去予定日	2047年3月30日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造（強度）計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。
景観保全のための措置の検討に関する事項		景観の保全のための措置の検討状況書参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 （※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。）		環境配慮区域外のため該当はございません。
備考		連絡先　大和ハウス工業株式会社　中部支社　名古屋環境エネルギー事業部 （電話番号）052-414-5710 （FAX番号）　052-414-5713 （電子メールアドレス）　aoshima01@daiwahouse.jp

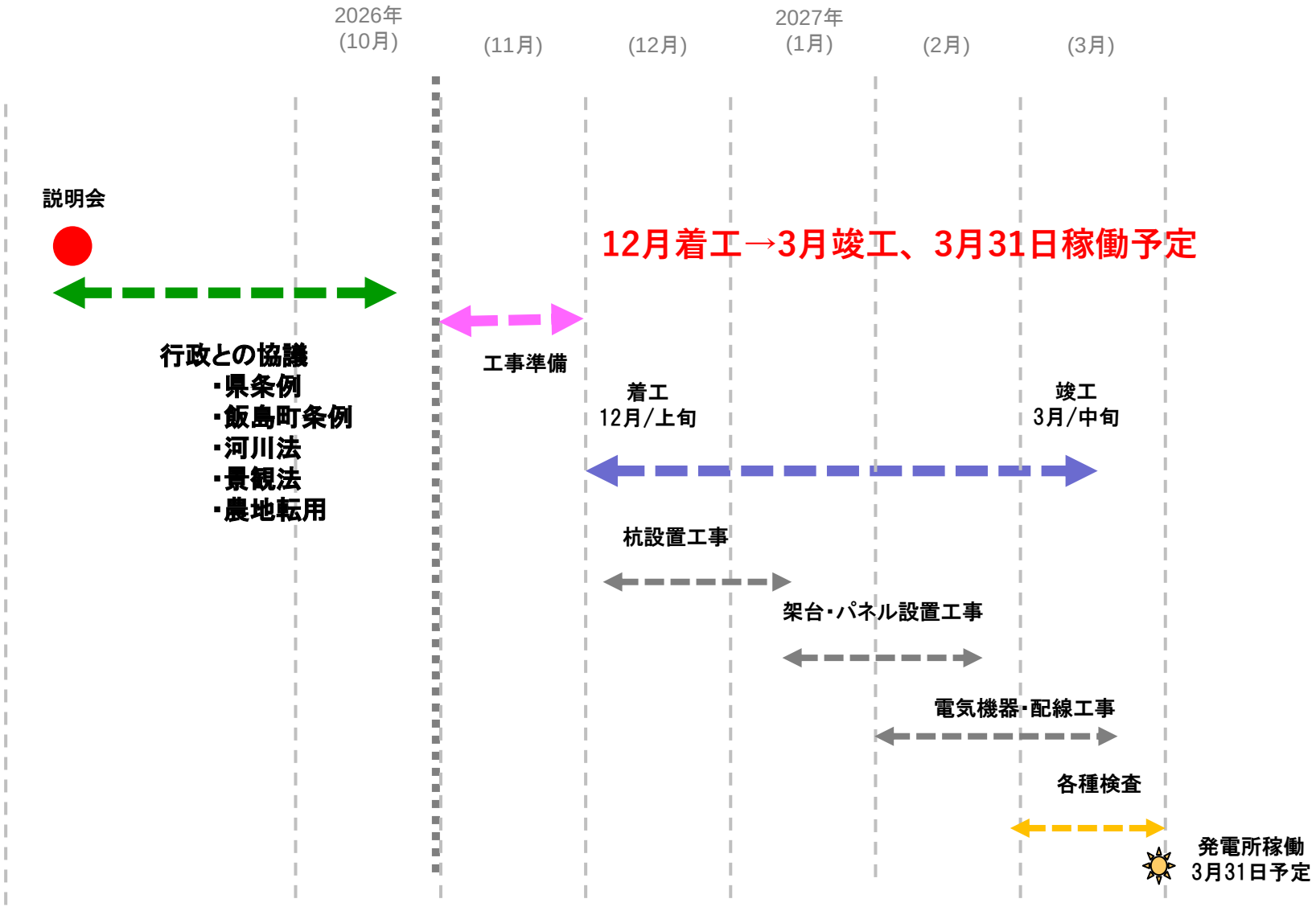
注１　該当する□内にレ印を記入すること。
２　「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。
３　「事業区域の面積」欄には、小数第１位まで記載すること。
４　「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第１位まで記載すること。
５　「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第９条第１項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
６　「備考」欄は、電話番号、ＦＡＸ、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。
（添付書類）１　位置図
２　事業区域図
３　太陽光発電施設の配置図
４　条例第11条の書面
５　その他知事が必要と認める書類

（参考様式）（第９条関係）

太陽光発電施設設置計画書

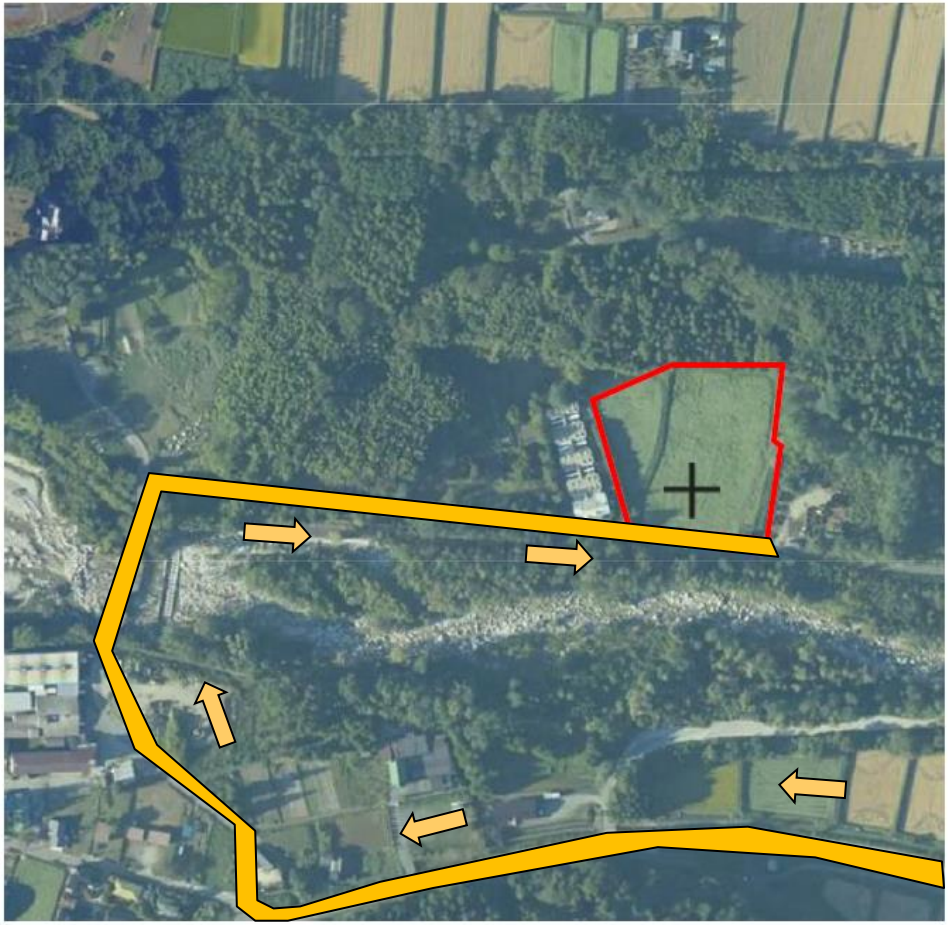
<table>
<tr><td>防災対策等設置施設</td><td colspan="3">☐調整池　☐沈砂池　☑排水設備　☐擁壁
☐管理用道路　☐その他（　　）</td></tr>
<tr><td>特定区域の該当
※該当するものは事業区域図に明示すること</td><td colspan="3">☐地域森林計画対象民有林　☐地すべり防止区域
☐急傾斜地崩壊危険区域　☐土砂災害特別警戒区域
☐砂防指定地
☑該当なし</td></tr>
<tr><td>環境配慮区域の該当
※50 キロワット以上の事業に限る
※該当するものは事業区域図に明示すること</td><td colspan="3">☐国有林・地域森林計画対象民有林
☐国立公園・国定公園・長野県立自然公園
☐長野県自然環境保全地域　☐郷土環境保全地域
☐水道水源保全地区　☐水資源保全地域
☐希少野生動植物の生息地等保護区　☐鳥獣保護区
☑該当なし</td></tr>
<tr><td>工程表</td><td colspan="3">別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>工事車両の運行計画</td><td colspan="3">想定される台数（延べ）（予定）　308 台　4 台×77 日
運行時間（予定）　8:00～17:00
経路　搬入経路図参照</td></tr>
<tr><td rowspan="4">造成工事</td><td>盛土の有無</td><td>有 ・ 無</td><td>想定盛土量　　㎥</td></tr>
<tr><td>切土の有無</td><td>有 ・ 無</td><td>想定切土量　　㎥</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業区域外からの搬入量</td><td>―　㎥</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業区域からの搬入量</td><td>―　㎥</td></tr>
<tr><td rowspan="2">排水処理設備の有無</td><td colspan="3">有　・　無</td></tr>
<tr><td>排出経路</td><td colspan="2">隣接の法定外水路</td></tr>
<tr><td>送電設備</td><td colspan="3">☐鉄塔　☑電柱　☐地下埋設</td></tr>
</table>

事業に関する工事概要（スケジュール予定/概要）



搬入経路図

拡大図



•出典：国土地理院航空写真
※国土地理院航空写真を加工して作成

搬入路について

左図のオレンジのルートにて搬入予定です。

（参考様式）（第７条関係）

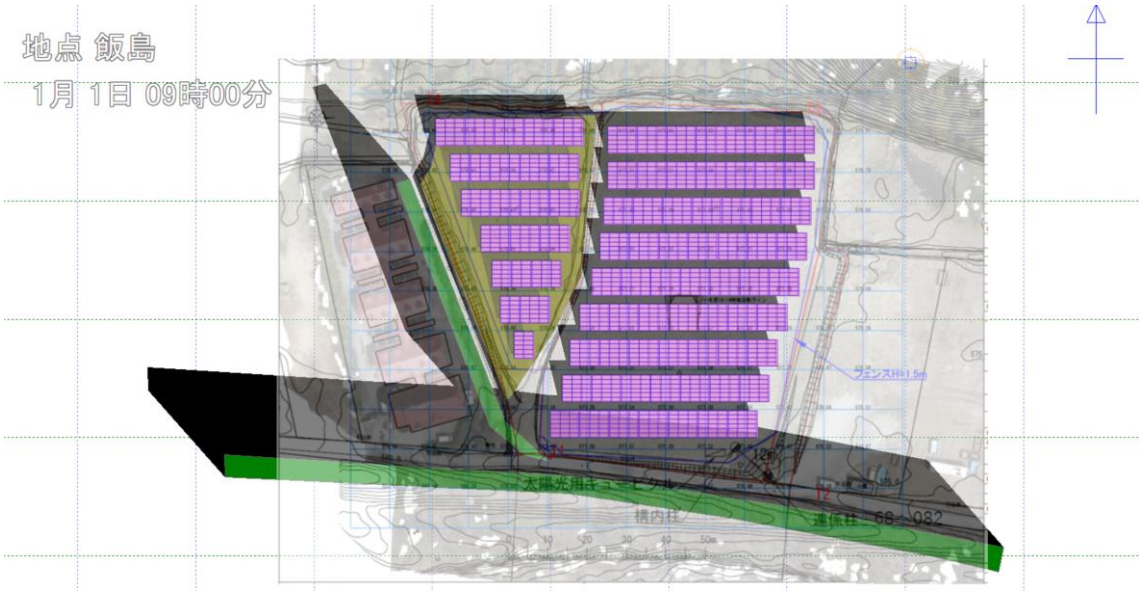
景観の保全のための措置の検討状況書

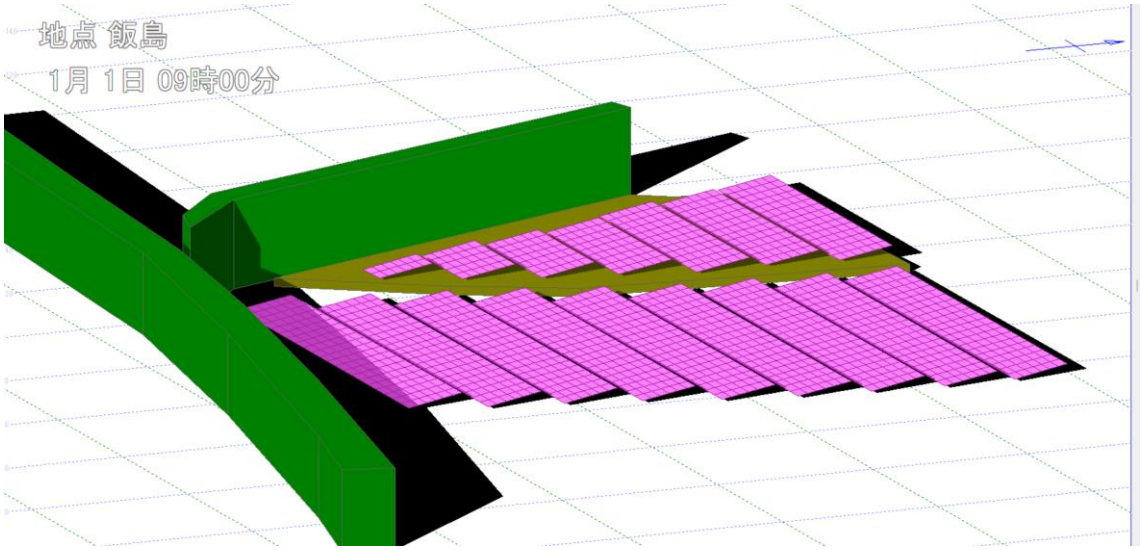
項　目		検　討　事　項	配慮する内容
太陽電池モジュール	全体	(1)　稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないよう、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	斜面や高台などの見通せる場所ではありません。土地の造成等は行わない計画としました。
		(2)　公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	主要道路や公共的な眺望点から見えるものではありませんが、完成予想図を作成し、添付しました。
	配置	(1)　敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	主要な道路には面していません。道路、隣地境界から太陽光モジュールを離して配置しました。
		(2)　施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	敷地状況にあわせパネル配置を計画しました。
	規模	(1)　周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	高さは必要最低限としました。
		(2)　主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	主要な道路、公共的な眺望点からは見えない配置となっています。
	形態・意匠	(1)　当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	当該地に適した架台を選定し太陽光モジュールの向き、傾斜を統一しました。
		(2)　太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	周囲にあわせ傾斜を選定しました。
		(3)　太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	裏面が道路から見えないように配置しました。

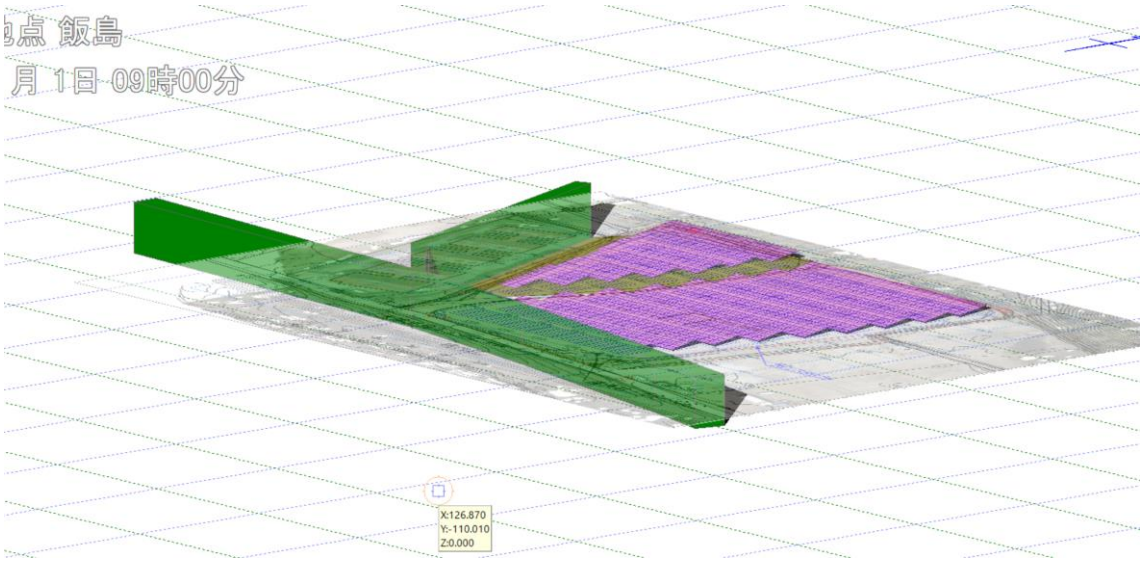
項　目		検　討　事　項		配慮する内容
太陽電池モジュール	材料・色彩等	(1)　低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		太陽光の反射を低減する対策済みのパネルを選定しました。
		(2)　黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		配慮した設計をしております。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	主要道路および隣接地への影響が少ないことから対策不要と判断しました。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	なるべく目立たない色を選定しています。
附帯施設・附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		色彩・形態・意匠に配慮し、地域の景観を損ねない計画としました。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		電柱電線類を極力少なくするようにしました。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		色彩等に配慮し、地域の景観を損ねない計画としました。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		植栽の実施はありません。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		植栽の実施はありません。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		隣地建物との間に既存の植栽があり、反射光の影響は少ないと想定されます。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		維持管理計画を策定しています。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		確認し適合する内容としております。

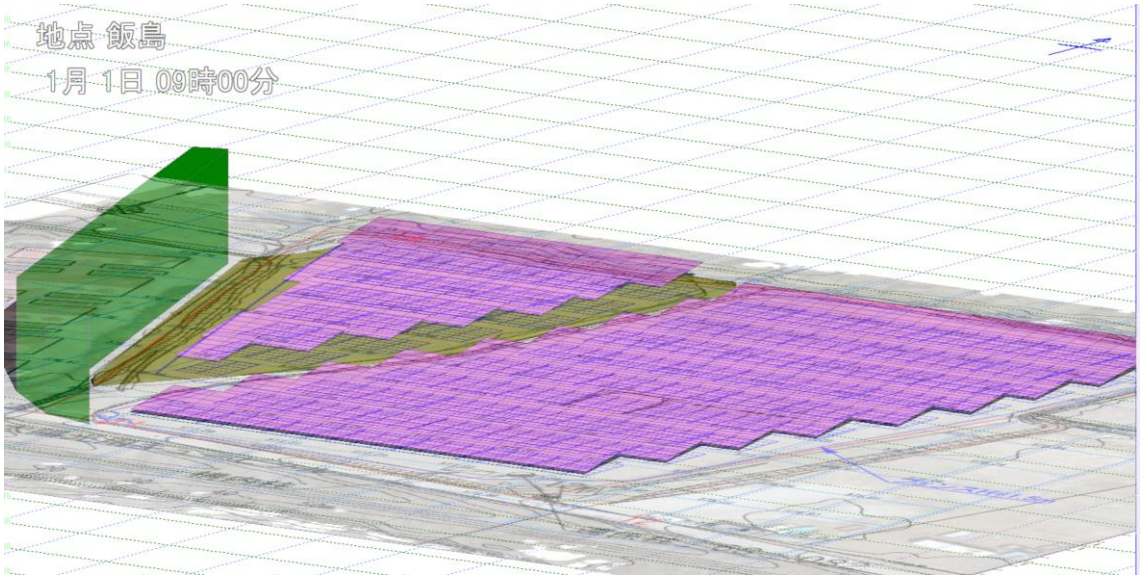
上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

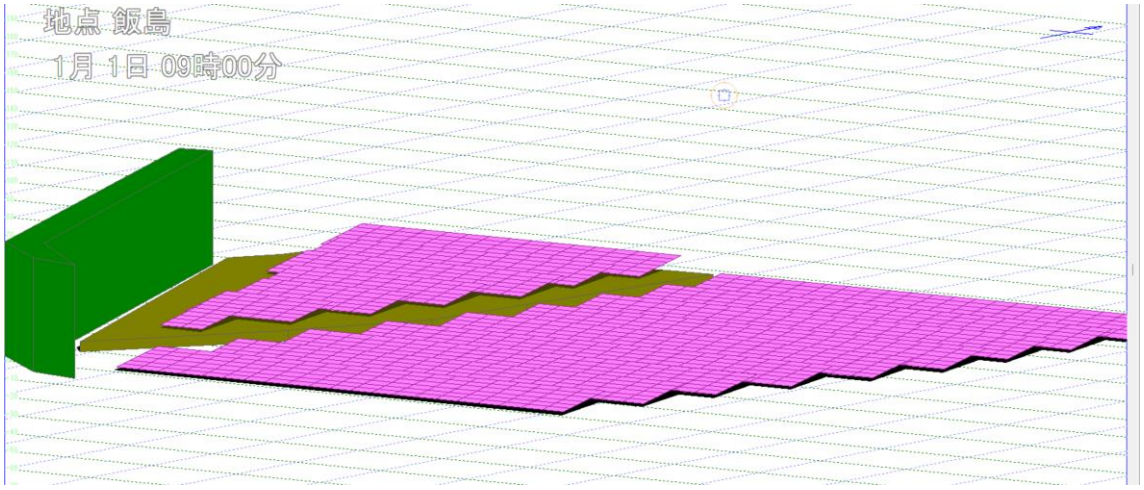
完成予想図

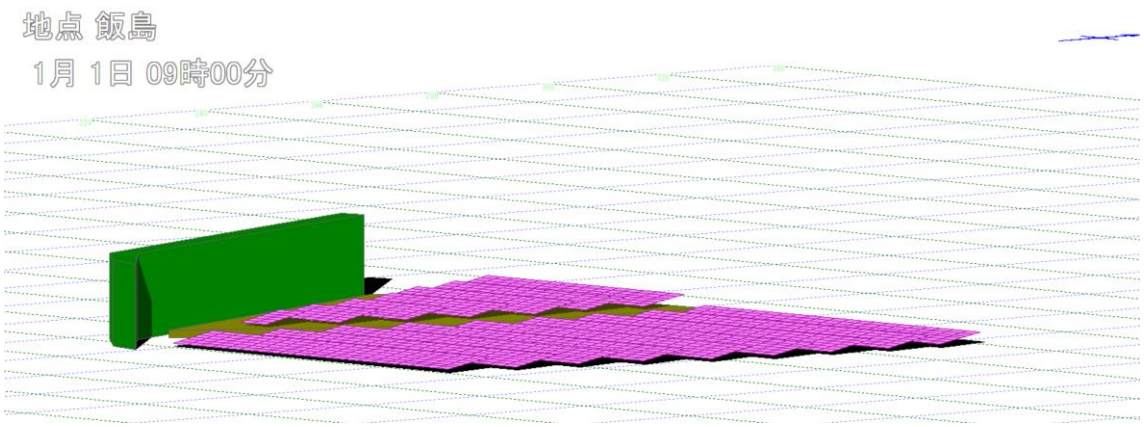





地点 飯島
月 1日 09時00分
X:126.870
Y:-110.010
Z:0.000


地点 飯島
1月 1日 09時00分


地点 飯島
1月 1日 09時00分


地点 飯島
1月 1日 09時00分

（参考様式）（第 19 条関係）

維　持　管　理　計　画

作成日　　2026 年 10 月 15 日

太陽光発電施設の設置場所	長野県上伊那郡飯島町飯島 231-1，240-2，240-3，242-1	
事業者名（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名）	名古屋市中村区平池町 4 丁目 60 番地 9 大和ハウス工業株式会社　中部支社 上席執行役員支社長　髙吉　忠弘	
保守点検責任者	氏名及び住所	同上
	電話番号	052-414-5710
合計出力	699.0　kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	2047 年 3 月 30 日	
損害保険の加入状況	☑有　　□無 （保険内容　自然災害　電気的・機械的事故の対応）	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	太陽光発電施設の処分は廃棄物処理業者に依頼する。 撤去後は更地に戻します 廃棄費用については毎年積み立てを行います。	
維持管理計画及び状況の公表方法	閲覧希望者への提示	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

保守点検項目に従い巡視を実施します。状況により電源遮断を検討します。

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省、県など）に連絡をします。土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じます。

＜別紙＞

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	■	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	
	■	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	
	■	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	
	■	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	
	■	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	
	■	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年1回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年1回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		年1回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年1回	
接続箱	■	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年1回	
	■	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年1回	
漏電遮断器	□	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。			
	□	配線	配線に著しいきず、破損がない。			
パワーコンディショナー	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	
	■	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	□	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年　○回	
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	□	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	■	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年1回	
			亀裂、ずれがない。		年1回	
			破損がない。		年1回	
			排水設備外への漏水がない。		年1回	
調整池	□	提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			
	□	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			

	□	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	□	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	□	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	■	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年1回	
	■	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		年1回	
	■	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年1回	
進入路・管理道	□	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			
設置地盤	□	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	□	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加・修正してください。

事業予定地の位置図

位置図

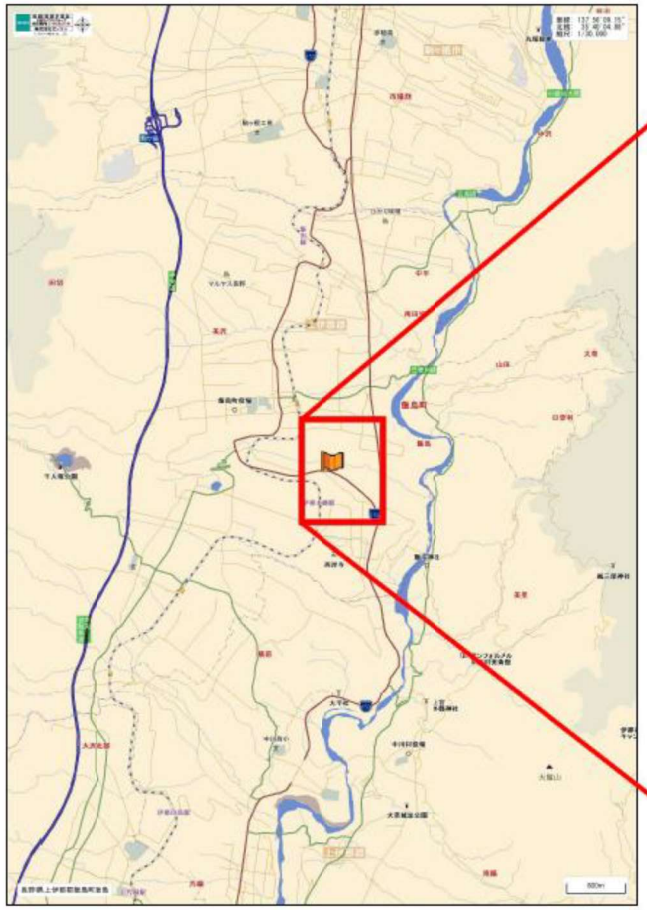


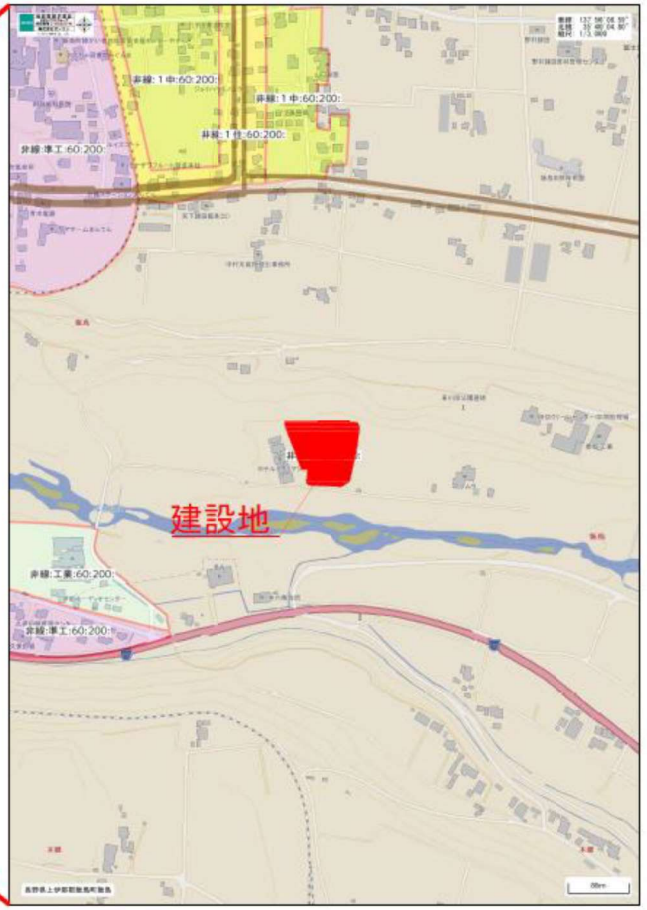
拡大図



•出典：国土地理院航空写真
※国土地理院航空写真を加工して作成

建設地住所	長野県上伊那郡飯島町飯島231番1他





Daiwa House

大和ハウス工業株式会社
中部支社
名古屋環境エネルギー事業部
第二営業所

DREAM Solar
長野飯島231-1
太陽光発電設備設置工事

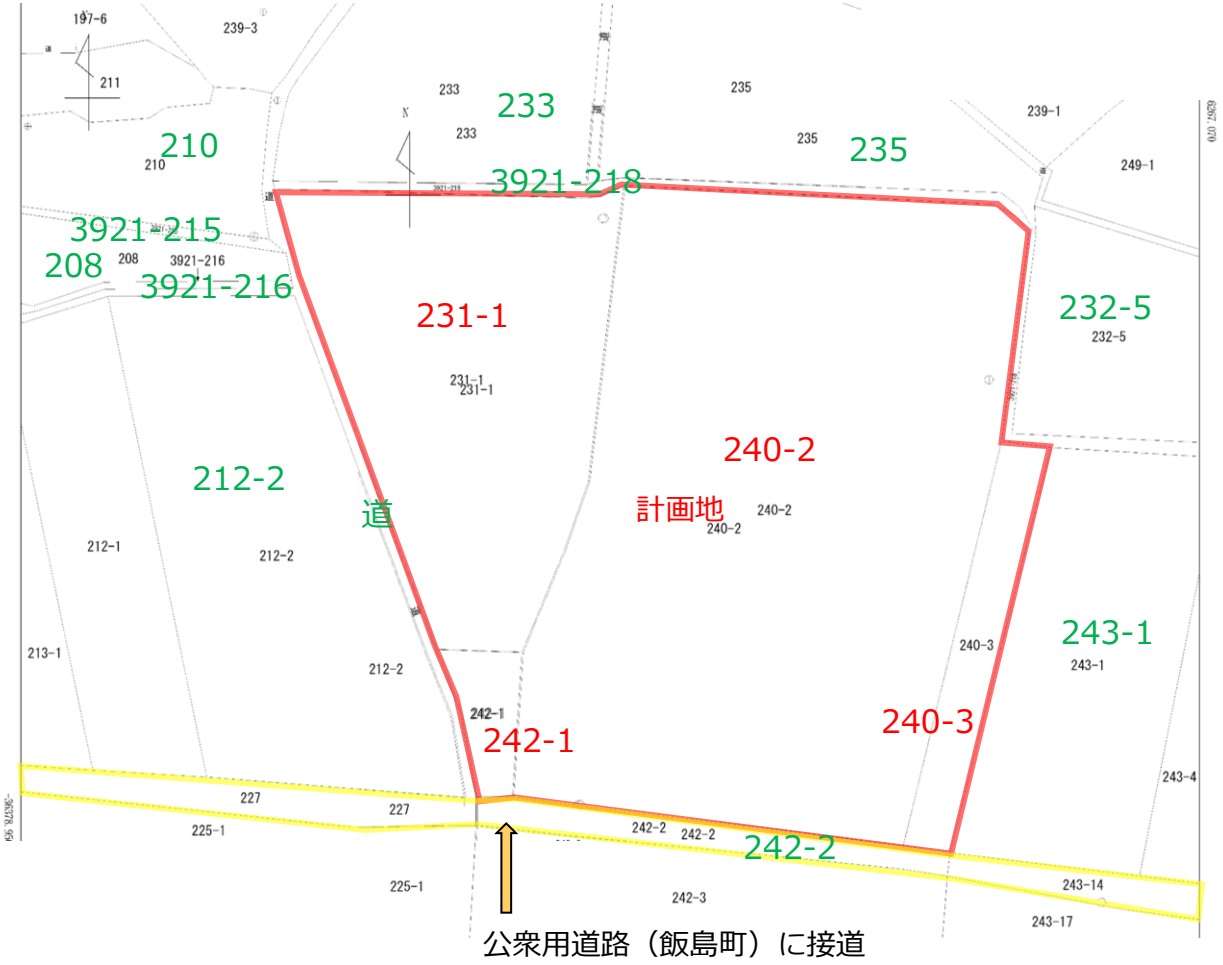
【見積図】

25/07/15

現地案内図・周辺見取図

EA-04

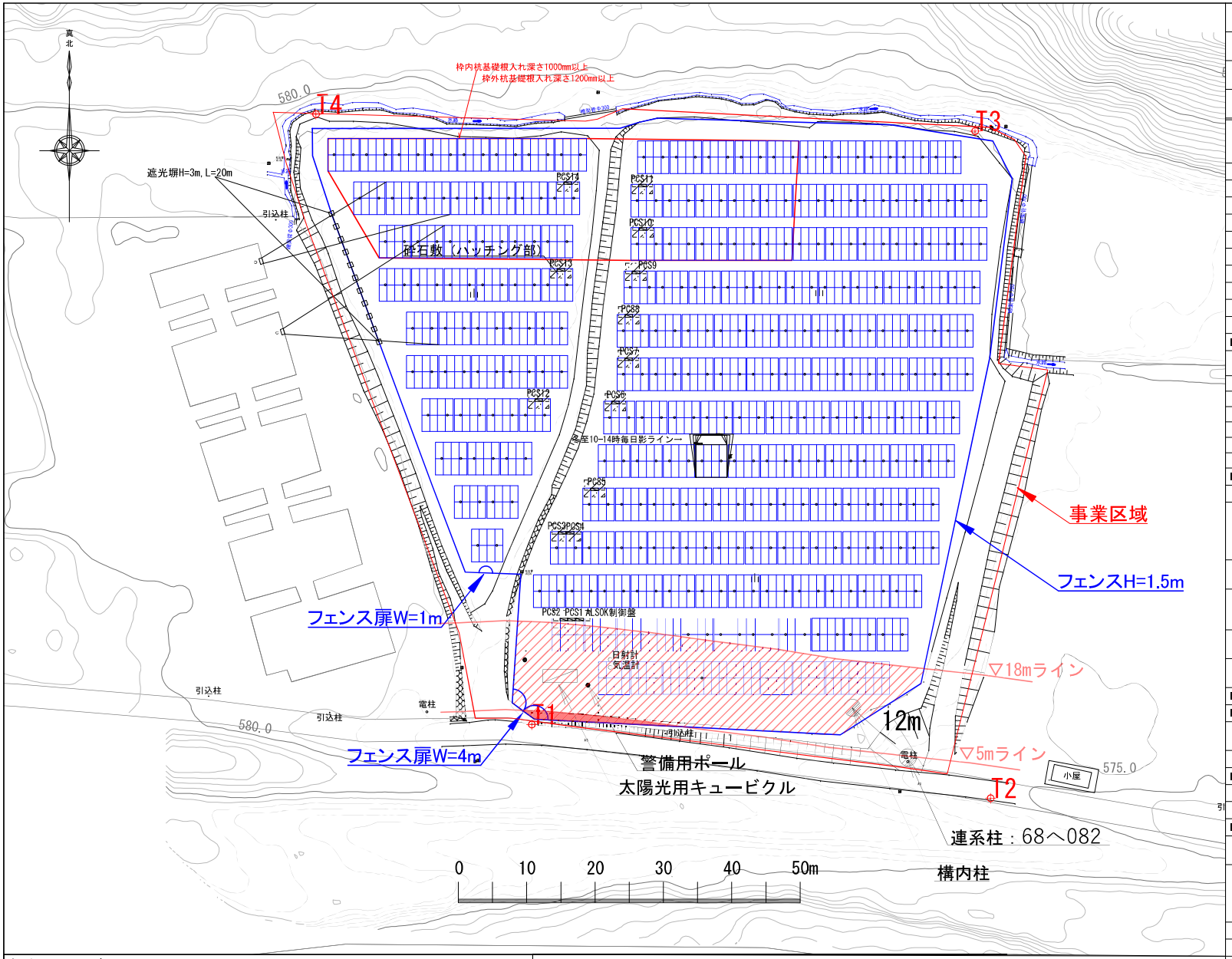
事業区域図等



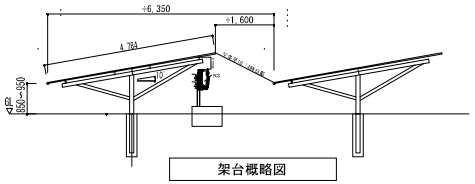
計画地地番	地目	面積
231-1	田	2,295
240-2	田	5,474
240-3	原野	426
242-1	原野	178

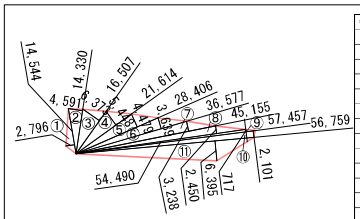
隣接地地番	地目	面積
208	田	955
210	田	1,083
212-2	宅地	2369.40
232-5	山林	1,253
233	山林	1,415
235	山林	1,515
242-2	公衆用道路	275
243-1	山林	1,612
3921-215	用悪水路	350
3921-216	用悪水路	207
3921-218	用悪水路	470

Confidential

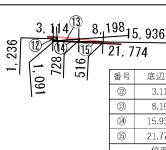


架台イメージ図





番号	底辺	高さ	積
①	14.544	2.796	40.665
②	14.330	4.591	65.789
③	16.507	6.373	105.199
④	21.614	5.448	117.753
⑤	28.406	4.479	127.230
⑥	36.577	3.639	133.103
⑦	45.155	3.238	146.211
⑧	54.490	2.450	133.500
⑨	57.457	0.717	41.196
⑩	57.457	2.101	120.717
⑪	56.759	6.395	362.973
倍面積			1394.336
面積			697.168
18mライン～フェンス面積			697.16㎡



番号	底辺	高さ	積
⑫	3.114	1.236	3.848
⑬	8.198	1.091	8.944
⑭	15.936	0.728	11.601
⑮	21.774	0.516	11.235
倍面積			35.628
面積			17.814
5mライン～フェンス面積			17.81㎡

工事担当者	営業担当者

■特記事項
- 発電電力の連系可否は、電力会社との協議によります。
- 機器詳細検討及び条件変更により、モジュール枚数が変更になる場合があります。
- 各調査後、計画内容の変更になる場合があります。

オフサイトPPA/全量売電

モジュール容量	982.8kW
システム容量	699.0kW
トランス容量	800.0kVA

施工場所	長野県上伊那郡飯島町飯島231番1他 東経：137° 56′ 08.59″ 北緯：35° 40′ 04.80″
敷地面積	8,373.0㎡（フェンス内CAD計測約7,080㎡）
地表面粗度区分	Ⅲ
垂直積雪量	47 cm（JIS）
設計基準風速	30 m/s
塩害対策	無
アレイ傾斜角度	10°
アレイピッチ（杭間）	約6350mm
アレイ方位角度	南向き
アレイ下端	GL+850～950
力率一定制御	力率90%一定制御
■モジュール仕様	
型式（メーカー）	DM650G12RT-B66HSW （DMEGC ジャパン）
公称最大出力/公差	650W
公称最大出力動作電圧	41.56V
公称最大出力動作電流	15.65A
公称開放電圧/公差	49.73V
短絡電流/公差	16.56A
外形寸法/質量	2382×1134×30mm/32.3kg
■システム構成	
モジュール設置枚数	合計：1512枚
パワーコンディショナ	SUN2000-50KTL-JPM0（ファーウェイ） 50kW（55.5VA）×13台 +49kW（54.4VA）×1台 =699kW（775.9kVA）
トランス容量	800kVA（500+300kVA）
回路構成	18直列×6並列×14系統
動作電圧 開放電圧	748.08V（41.56V×18直列） 895.14V（49.73V×18直列）
動作電流 短絡電流	15.65A/回路 16.56A/回路
■配線方法	露出配管（アルミケーブル）
■架台・基礎	
架台	タテ置き2段4列 189組
基礎	架台：378本 PCS等：28本
■防草対策	
防草シート	(無) ・ 有
砕石敷	(無) ・ 有
■フェンス・ゲート・その他	
フェンス	L=340m（H=1500） 忍返し無し、 遮光塀L=20m（H=3000）
出入口扉	両開：W=4000×1 片開：W=1000×1 色：ブラウン 吊戸式・フランス落とし・開口部付き
照明	(無) ・ 有
遠隔監視	無 ・ (有)
日射計・気温計	無 ・ (有)
監視カメラ（ﾗﾌﾞﾗｽｼｽﾃﾑ）	無 ・ (有)
■防犯対策	
アルミケーブル	無 ・ (有)
防犯システム（標準）	無 ・ (有)
防犯システム（AIカメラ）	(無) ・ 有
※※※※	

Daiwa House.

大和ハウス工業株式会社
中部支社
名古屋環境エネルギー事業部
第二営業所

記事

改訂	説明

法適合確認者
【設備関係規定に適合する】

管理建築士 [redacted]
承認 [redacted]
照査 [redacted]
代表となる設計者 [redacted]
その他の設計者
設計補助者
設計補助者
設計補助者

工事番号 9999999999999

工事名称
DREAM Solar
長野飯島231-1
太陽光発電設備設置工事

【申請図】

発行日 26/10/20

図面名称
配置計画図

縮尺（A3） 1：600

図面番号
EA-06

Copyright (C) 大和ハウス工業株式会社 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

ver.2022.09

撮影①



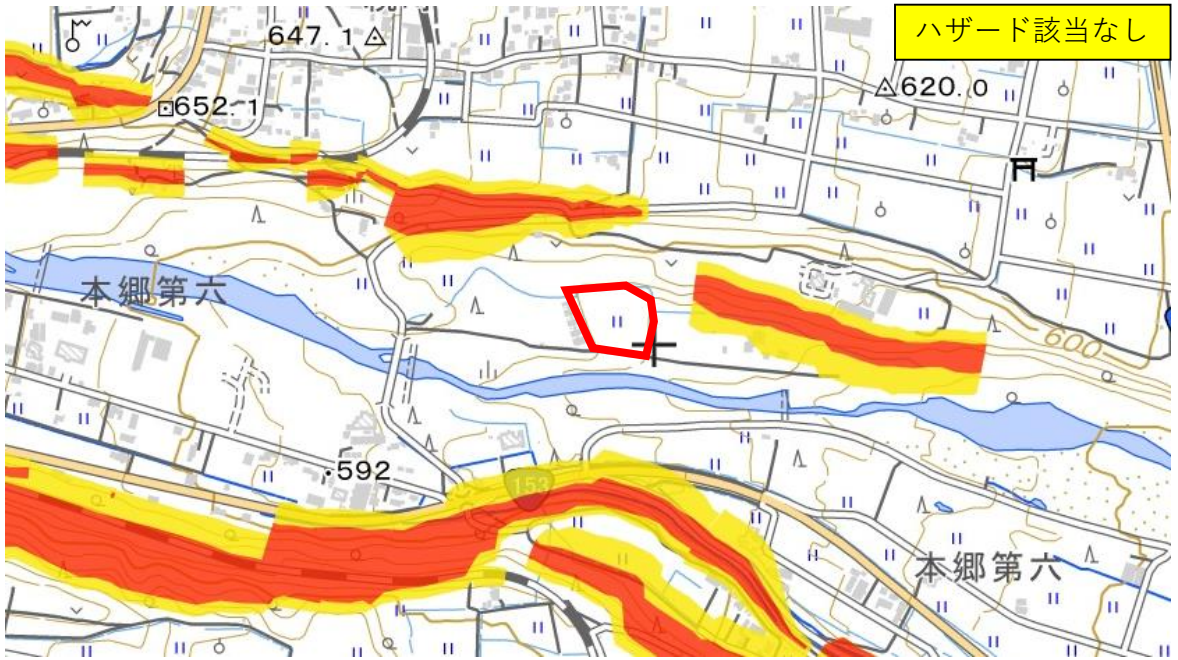
撮影②



撮影③







•出典:「ハザードマップポータルサイト」 ハザードマップポータルサイトを加工して作成

（参考様式）（第11条・第13条関係）

事業基本計画説明状況書

2025年9月8日作成

事業者の住所・氏名 （法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）		愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番地9 大和ハウス工業株式会社　中部支社 執行役員支社長　石野　信治
事業太陽光発電施設の設置の場所		長野県上伊那郡飯島町飯島231-1，240-2，240-3，242-1 （設備ID　非FIT案件になります。）
説明会開催についての周知の方法とその範囲		区長、自治会長と打合せの上、各自治会へ説明会案内を回覧。県のHPにて説明会案内を告知。 飯島区 親町自治会 鳥居原自治会
説明会の概要	日時	2025年9月7日（日）　18:00～
	場所	飯島公民館（成人大学センター） 飯島町飯島1189-1
	参加者数	14名
	説明を行った者の氏名（法人にあっては、氏名及び役職名	[redacted]　（中部支社名古屋環境エネルギー事業部事業部長） [redacted]　（東京本社BS本部技術統括部環境エンジニアリング推進部設計推進グループ次長） [redacted]　（中部支社名古屋環境エネルギー事業部主任）

注１　説明会を２回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

（添付資料）１　説明会で配布した説明資料

２　説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

（参考様式）（第11条・第13条関係）

意見回答書

作成日　2025年9月8日、説明会実施日　2025年9月7日

太陽光発電施設の設置予定場所	長野県上伊那郡飯島町飯島231-1，240-2，240-3，242-1

意見（質問・要望）	陳述者・提出者	回答
騒音等に関して問題はないと思われるが、100-150m先に住宅があるため、住民から工事期間中に騒音等で要望がありましたら配慮をお願いします。	質問者：[redacted]様 回答者：[redacted]	承知いたしました。
発電所が停止した際に、名古屋から駆け付けるのは難しいと思うが対応をどうされるのか。	質問者：[redacted]様 回答者：[redacted]	電気主任技術者と契約を締結します。発電所停止の際には主任技術者がすぐ駆け付ける体制としています。
銅線の窃盗が増えているが対策はどうされますか。	質問者：[redacted]様 回答者：[redacted]	発電所の外周を1m50cmのフェンスで囲みます。また、アルソックと警備の契約を結び、侵入者へ声掛けやサイレンを鳴らす対応をします。銅線ではなく、アルミを採用します。フェンスに看板を設置し、銅線ではなくアルミを採用している旨の記載をします。
山に囲まれていて風速30m/sを超えることはないと思いますが、台風等で風速30m/sを超えた場合に、すぐに発電所がとばされてしまうのでしょうか。	質問者：[redacted] 回答者：[redacted]	JISをもとに風速30m/sで設計をしている。山に囲まれている場所のため風速30m/sを超えることは想定されない。30m/sを超えたらすぐ飛ぶということではない。過去の施工でも台風等で飛ばされたことは一部の発電所しかない。仮にパネルが飛散した場合にはすぐ対応をします。
事業性がある話のため、難しいかもしれませんが、可能であれば工事に地元の業者を使ってほしい。	質問者：[redacted] 回答者：[redacted]	事業性ありきのため、お約束はできませんが、見積をとって検討はしていきます。
搬入路について一部通学路になっている可能性があります。また搬入時期が夏休み期間に該当するため、子供等に十分気を付けて搬入してください。	質問者：[redacted]様 回答者：[redacted]	承知いたしました。トラック搬入には警備員がつきます。搬入には十分配慮いたします。

Daiwa House
大和ハウスグループ

DREAM Solar　長野飯島231-1
太陽光発電所　計画について

2025年9月7日
大和ハウス工業株式会社
中部支社
名古屋環境エネルギー事業部

Daiwa House

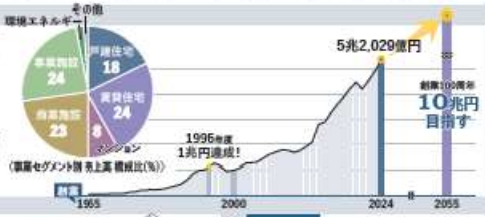
大和ハウスグループ

PROFILE 2024

住宅・不動産建設業界 No.1

〈売上高〉2023年度

5兆2,029億円



グループ会社規模

2024年3月31日現在

〈グループ会社数〉※大和ハウス工業含む

497社

〈グループ社員数〉※契約社員・パート等含む

約72,300人

〈協力会社数〉

※大和ハウス工業の生産・施工協力会社、資材調達先、設備協力先などパートナー企業の数

約4,800社

〈女性管理職数〉※主要グループ会社計

2024年4月1日現在

516人

戸建住宅

xevoΣ

〈販売戸数累計〉2024年3月31日現在

657,495戸

〈販売戸数〉2023年度

5,184戸

賃貸住宅

D-ROOM

〈販売戸数累計〉2024年3月31日現在

1,234,305戸

〈販売戸数〉2023年度

29,841戸

〈管理戸数〉2024年3月31日現在

684,460戸

〈入居率〉**97.2%**

2024年3月31日現在

※一括借上戸数(618,659戸)に対する入居率

流通店舗

2024年3月31日現在

〈建築累計〉

※大和ハウス工業が建築した施設の累計

48,076件

海外展開エリア

GLOBAL

2024年3月31日現在

25の国・地域　53都市

マンション

〈供給戸数累計〉2024年3月31日現在

105,720戸

※プレミスト・Dシリーズ以前の物件も含む

〈供給戸数〉2023年度

1,522戸

2023年マンション供給戸数ランキング 第11位

※(株)不動産経済研究所調べ

〈管理戸数〉2024年3月31日現在

385,611戸

住宅・事業施設ストック

2023年度

Livness [リブネス]

〈リフォーム件数〉※大和ハウスグループ全体の件数

87,146件

〈不動産売買仲介件数〉

5,060件

〈不動産買取再販件数〉

1,272件

物流施設

2024年3月31日現在

〈大型物流施設の開発延床面積累計〉

※施工中・売却物件含む

約1,295万㎡

332棟

環境エネルギー

2024年3月31日現在

〈再生可能エネルギー 自社発電施設数〉

551カ所

約575MW

〈再エネ率〉

(再エネ発電量÷当社グループの電力使用量)

約163%

金融

2024年3月31日現在

〈大和ハウスフィナンシャル HeartOneカード会員数〉

約323,100人

スポーツクラブ

2024年3月31日現在

〈施設数〉**65カ所**

ホームセンター

2024年3月31日現在

62カ所

医療・介護施設

2024年3月31日現在

〈受注累計〉

約10,400施設

アコモデーション(宿泊施設)

2024年3月31日現在

〈施設数〉**92カ所**

〈客室数〉**約18,600室**

駐車場関連

2024年3月31日現在

〈カーシェアリング拠点数〉**39カ所**

〈コインパーキング運営台数〉**約121,600台**

資産運用

2024年3月31日現在

〈大和ハウスリート投資法人 保有の資産規模/物件数〉

9,358億円

233件

Pick Up! 2023年度 受賞しました!

- 日本の住宅・建設業界で初めて「SBTネットゼロ」認定取得 (大和ハウス工業 2023/7)
- 快適防音室・快適静音室「音の自由区」が「第17回キッズデザイン賞」「こども政策担当大臣賞」 (大和ハウス工業 2023/8)
- 「ダイワロイネットホテルズ」10ホテルでエコマーク認定取得 (大和ハウスリアルティマネジメント 2023/10)
- 4プロジェクトがグッドデザイン賞 (大和ハウス工業・コスモスイニシア 2023/10)
- 「第26回企業電話応対コンテスト」"理事長賞" (大和ライフネクスト 2023/10)
- 「PRIDE指標2023」ゴールド・ブロンズ (大和ハウス工業・ロイヤルホームセンター 2023/11)
- 北大阪急行線の延伸事業土木工事が日建連表彰2023「土木賞」 (フジタ 2023/12)
- 研修施設「大和ハウスグループみらい価値共創センター」が「2023年度省エネ大賞」「省エネルギーセンター会長賞」 (大和ハウス工業 2023/12)
- CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」最高評価に5年連続選定 (大和ハウス工業 2024/3)

※売上高、グループ会社数、グループ社員数は海外含む。それ以外は国内実績にもとづく集計、すべて当社調べによる。
※事業セグメント別売上高構成比は、外部顧客に対する売上高。合計値には調整額が含まれるが、グラフ上では表示していない。

作成：2024年6月　大和ハウス工業株式会社　広報企画部

未来へ、ともに。We Build ECO

環境エネルギー事業部の事業内容

エネルギービジネス（太陽光・風力・電力小売・発電・省エネ・畜エネ）
を中心とした エネルギーソリューション事業









未来を、つなごう We Build ECO

目次

No.	項目	概要
1	事業計画概要	事業内容、設備内容、規模、計画範囲等
2	関係者概要	事業を行うものと運用について
3	関連法令状況	許認可、条例等への対応状況
4	事業、その他　補足事項	各種環境への配慮や運営について

1.1　事業計画概要



項目	概要
電源種別	太陽光発電所
設置形態	地上置き架台
出力規模	DC：967.68KW AC：700.00KW
設置場所	長野県上伊那郡飯島町飯島231-1, 240-2, 240-3, 242-1
内容	再生可能エネルギーを利用する需要家への電力共有

付近見取図　（詳細）



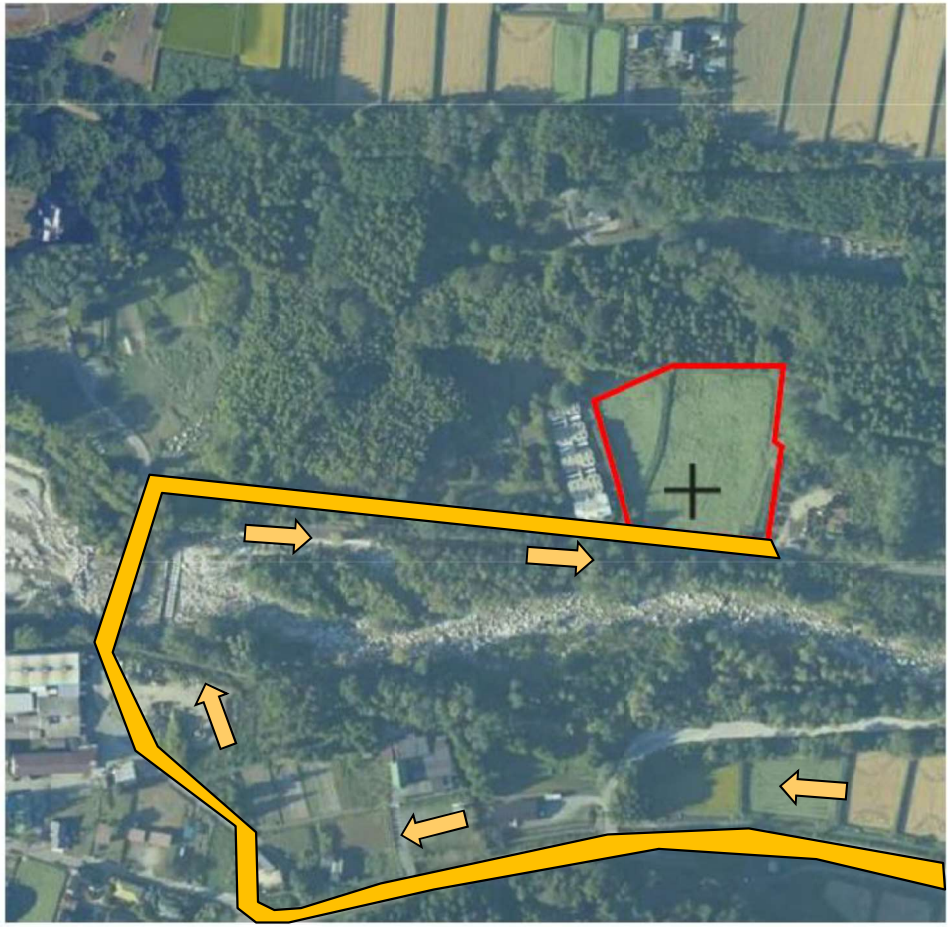
衛星写真



出典：地理院地図
※地理院地図に事業想定範囲を加工して作成

1.2　搬入路について

拡大図



•出典：国土地理院航空写真
※国土地理院航空写真を加工して作成

搬入路について

国道153号線から与田切川を渡り計画地へと搬入をします。左図のオレンジのルートです。

搬入は8:00-17:00の時間帯を想定しています。

10tトラックあるいは4tトラックにて搬入します。

杭架台の施工時、パネルの搬入時に
10tトラックあるいは4tトラックにて搬入を行います。
時期は(6月中旬~7月下旬）です。
また生コン車両が工事中、定期的に通行する予定です。

※10tトラックあるいは4tトラックについては
今後調整予定です。

1.3　配置図

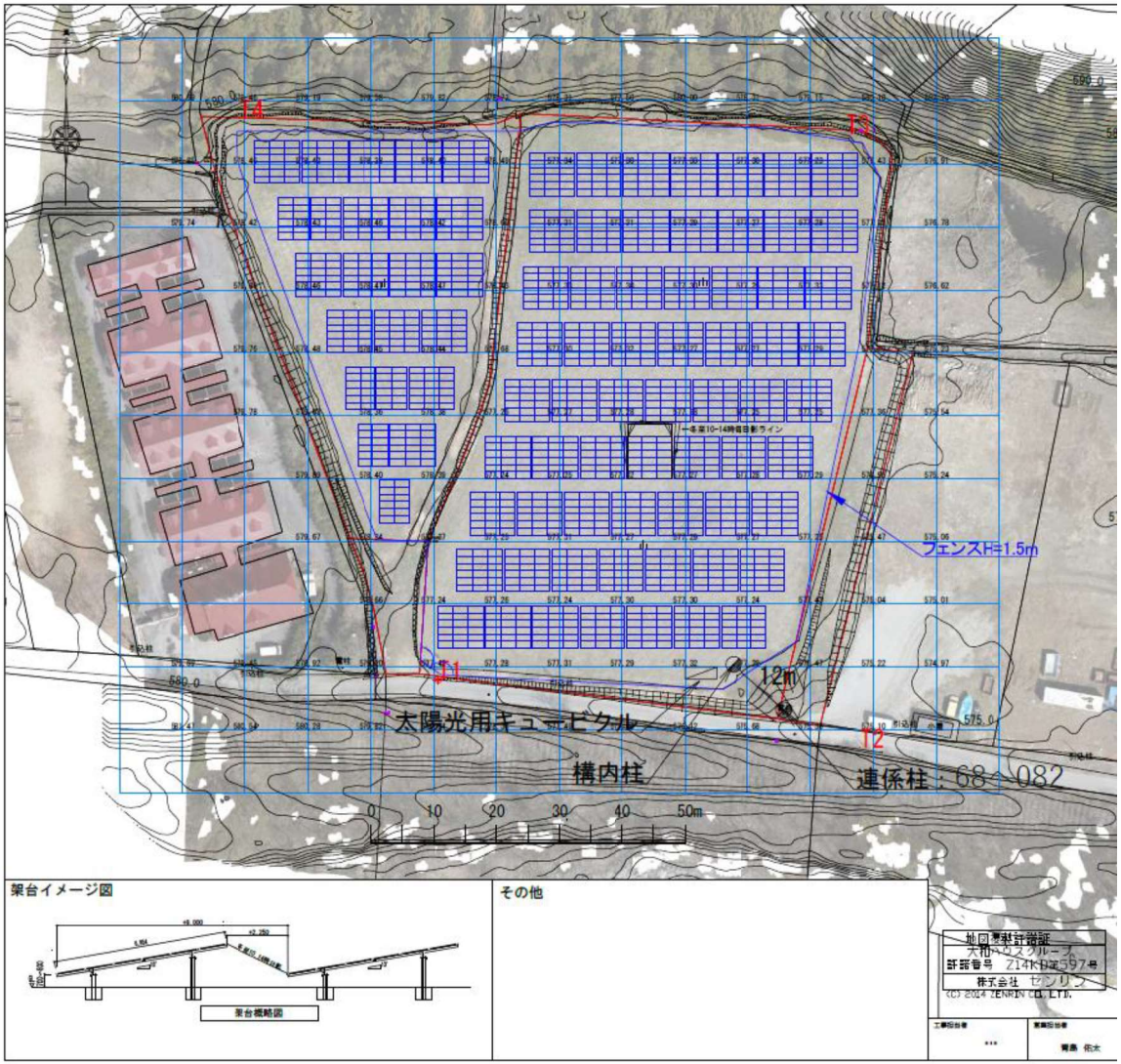
・モジュール
　640W相当
　サイズ
　2382x1134x30mm
　1,512枚

・パワーコンディショナー
　50kW　14基

・変電設備
（キュービクル）
　800kVA

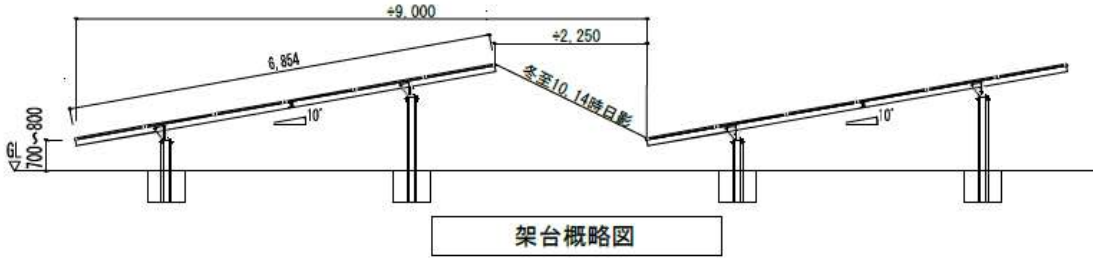
・太陽光架台
　6段3列80組
　6段2列6組
　角度:10度
　杭基礎

・設計基準風速　30m/s



1.4　事業計画概要

太陽光架台



架台概略図

太陽光パネル(参考)



2382x1134x 厚み30mm

施工参考写真



パワーコンディショナー

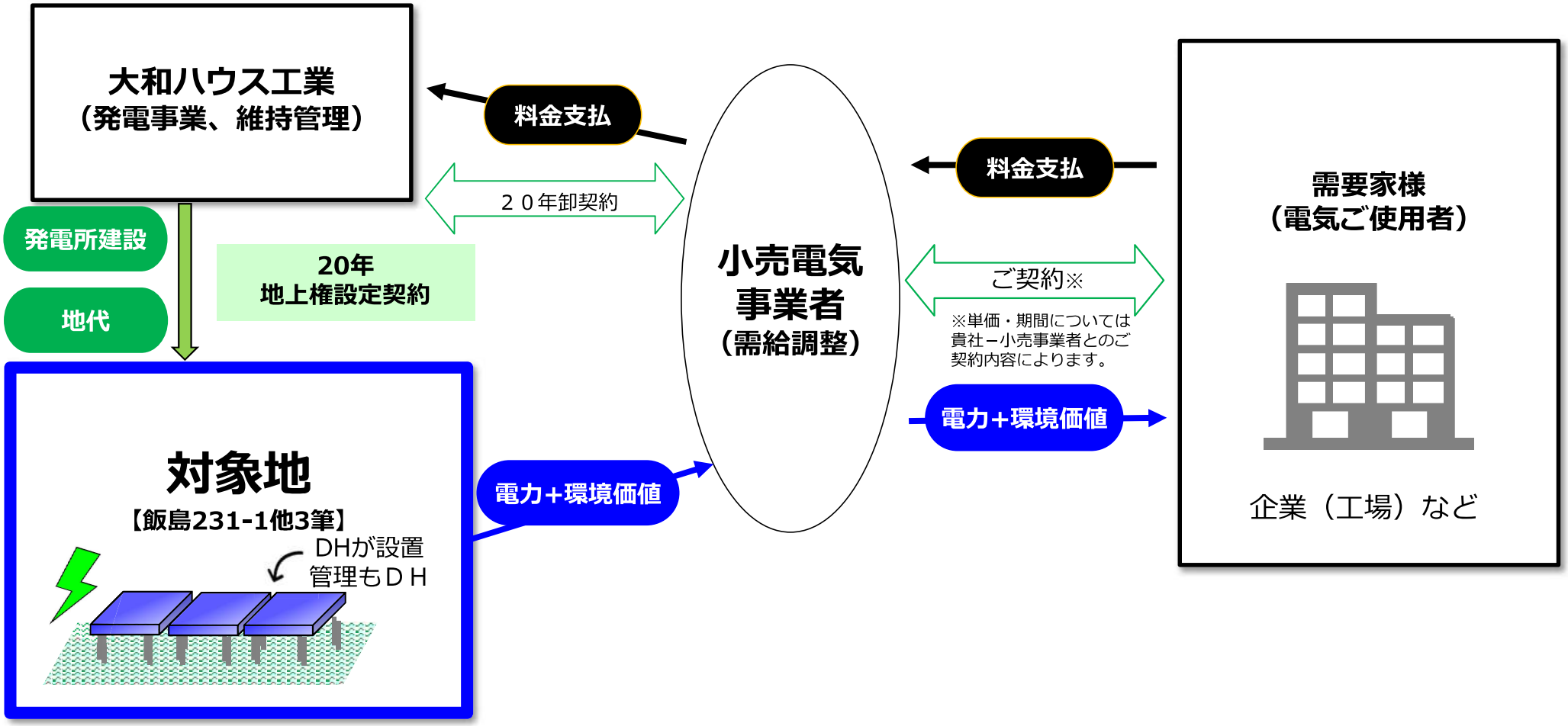


W1100 x H555 x D300mm

未来を、つなごう We Build ECO

2　関係者概要/事業内容

太陽光発電で『企業の脱炭素化』を推進。
発電所にて発電された電力を特定の企業の需要拠点へ送電します。
～社会的に求められている脱炭素化へのニーズへの対応～



未来を、つなごう We Build ECO

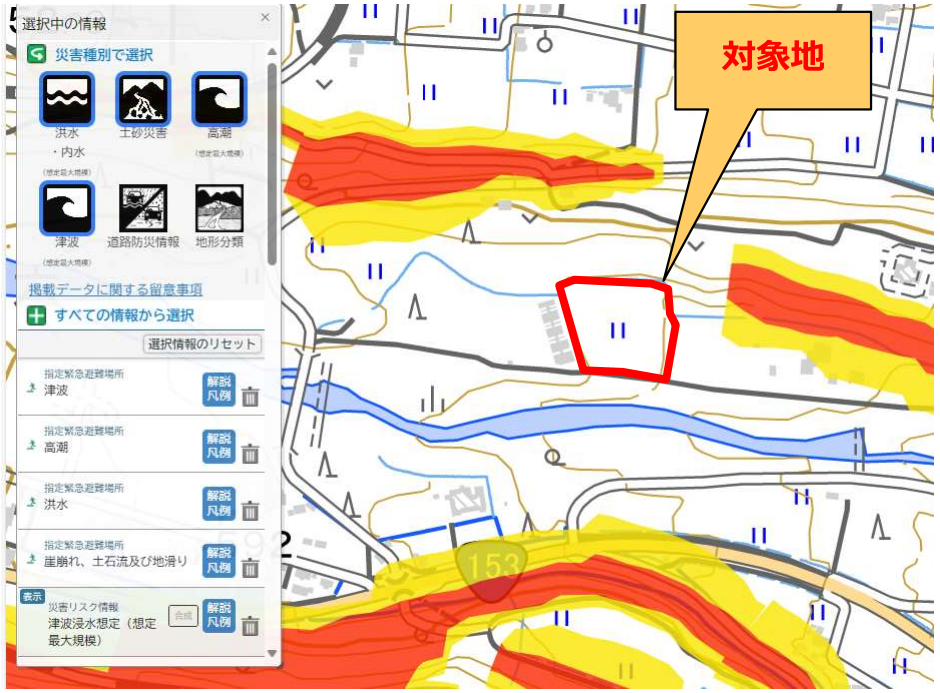
3　関連法令状況

No.	項目	状況
1	森林法における林地開発許可	該当致しません。
2	宅地造成及び 特定盛土等規制法の許可	造成等しないため該当致しません。
3	砂防法・地すべり等防止法・ 急傾斜地法　における許可	該当致しません。
4	県条例・町条例の対応	県条例について事業基本計画書を提出し手続き中です。町条例につきましても飯島町役場へ事業基本計画書を提出し手続き中です。
5	景観法	県条例・町条例完了後届け出予定です。
6	農地法	県条例・町条例完了後届け出予定です。
7	河川法	県条例・町条例完了後届け出予定です。

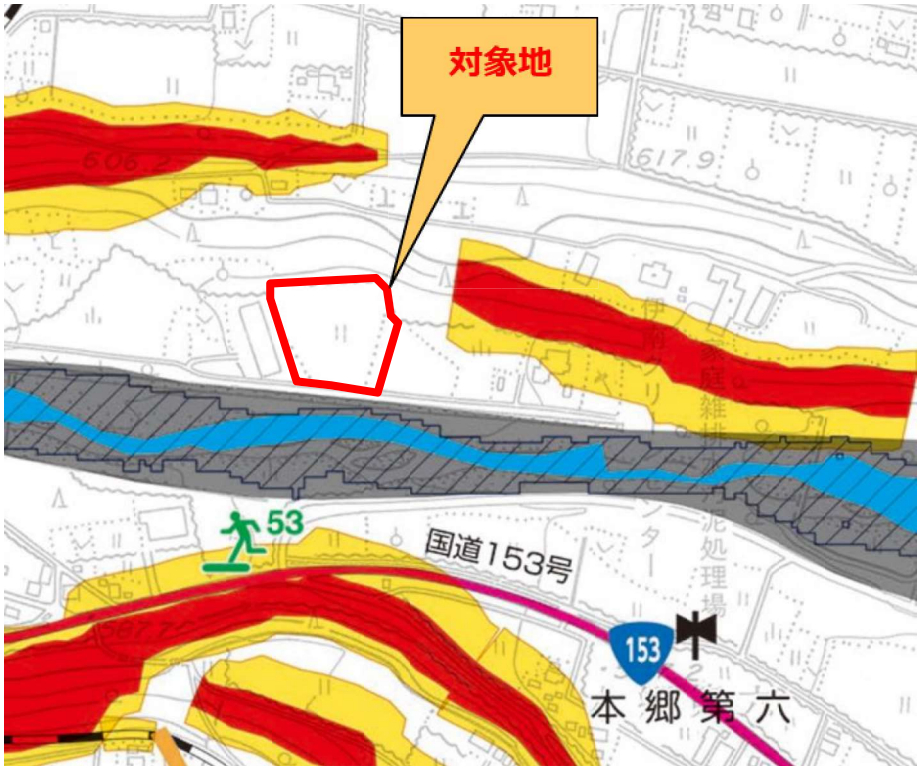
ハザードマップ（洪水、土砂災害、高潮、津波、道路防災）

ハザード　該当なし

垂直積雪量：47.0㎝



出典：ハザードマップポータルサイト
※ハザードマップポータルサイトに事業想定範囲を加工して作成



出典:飯島町総合ハザードマップ（飯島・田切）
※飯島町総合ハザードマップ（飯島・田切）を加工して作成

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞
保守点検項目に従い巡視を実施します。状況により電源遮断を検討します。

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞
事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省、県など）に連絡をします。土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じます。

現況写真（撮影日：2024年9月）







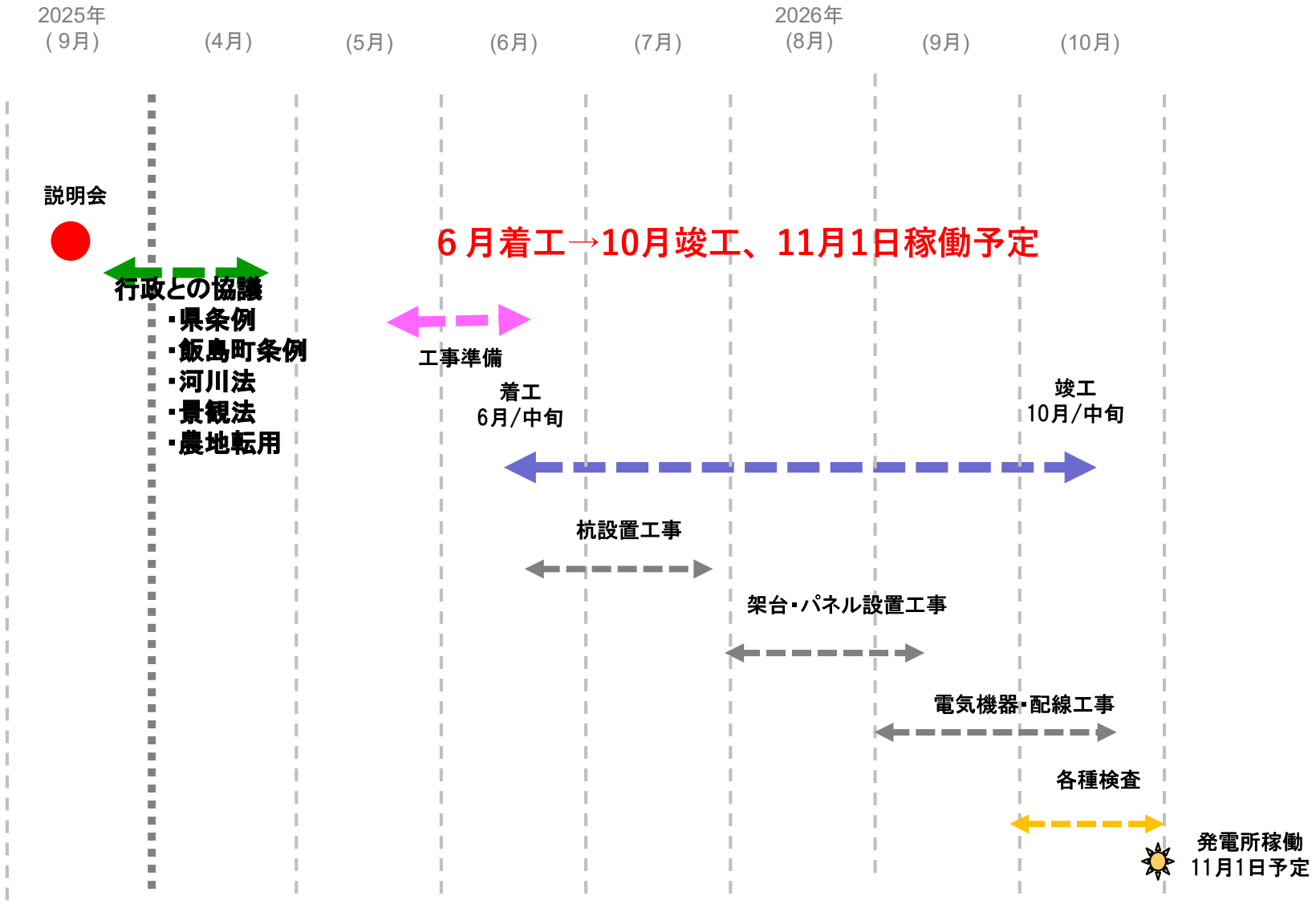




土地について

No.	項目	状況
1	地目	地目は田・原野です。
2	権利について	大和ハウスが当該土地に対し、地上権を設定し事業を行います。
3	期間	20年間を事業期間とし、終了後は関係者間で協議の上終了又は継続を決定します。事業を終える場合、太陽光発電施設を解体し撤去します。
4	状況	地権者様と合意書を締結しており、 今後、地上権を設定する予定となっています。

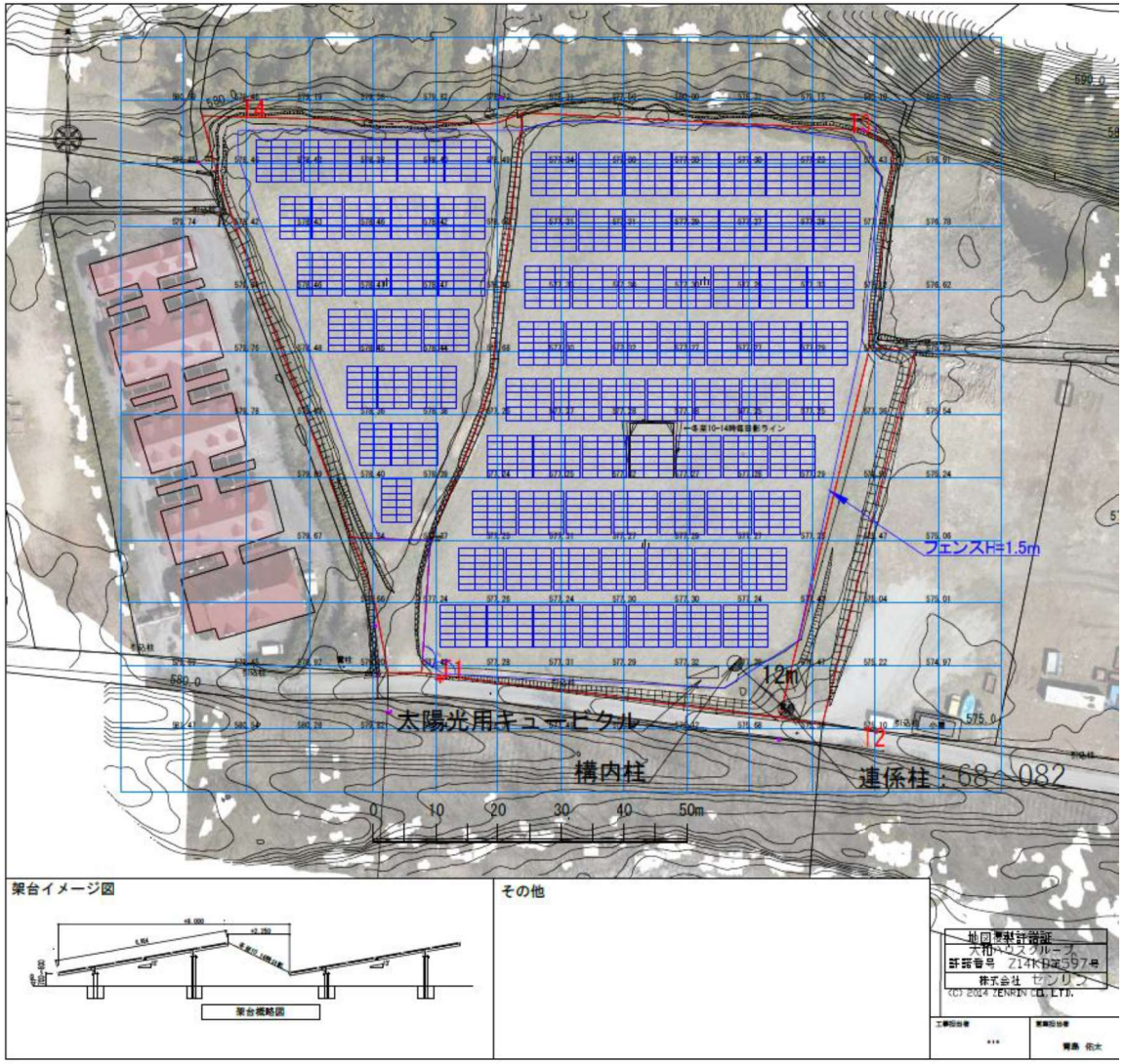
事業に関する工事概要（スケジュール予定/概要）



未来を、つなごう We Build ECO

4.1　その他　～反射・音について～

近隣から離れているため影響はございません。



4.2 その他　事業に関する工事概要（工事日程及び管理・運用について）

工事スケジュールについて

工事期間：2026年6月～2026年10月を予定しております。
発電開始：2026年11月1日を予定しております。
上記スケジュールが変更になった際は、変更内容をご連絡致します。
工事の時間は8:00-18:00。日は休み予定としております。

大和ハウス工業にて太陽光発電所の運用・維持管理を行います。

太陽光発電所の点検について
・3か月毎に専門の資格を有している外部機関の電気主任技術者により電気的な点検※1をします。
　また、1年に1回太陽光発電所を停電させ、詳細により細かい点検を実施します。

※1　電気的な点検とは、電線ケーブル等の損傷・外れ・腐食等がないかの確認。発電設備が発熱していないかの確認が主になります。

・草刈りについて
　季節ごとにより雑草処理の頻度は変わってきます。現地の状況を踏まえ対応していきます。

・遠隔監視にて発電状況を随時確認していきます。
　不具合が起こった際は、通知が来るようにしております。その際は、現地にて確認是正を行い、
　地域への影響が起きない対策を実施していきます。

連絡先および意見の提出先

連絡先

名古屋市中村区平池町4丁目60番地9
大和ハウス工業株式会社　中部支社
名古屋環境エネルギー事業部　[redacted]
（電話番号）　052-414-5710
（FAX番号）　052-414-5713

意見の提出先
①郵送先

名古屋市中村区平池町4丁目60番地9
大和ハウス工業株式会社　中部支社
名古屋環境エネルギー事業部　[redacted]

②メールアドレス

aoshima01@daiwahouse.jp